



8月24日(土)・25日(日)

第34回 北信越国民体育大会

Soft Tennis

ソフトテニス競技

第

34回北信越国民体育大会ソフトテニス競技が、荒川テニスコートで開催されました。

当日は、大勢の人が会場を訪れ、繰り広げられる熱戦に拍手と声援を送っていました。

国体出場をかけて

北信越5県（石川・福井・富山・長野・新潟）で選抜された各種別（成年男子・成年女子、少年女子）の選手・監督約120人が参加したこの大会は、第68回国民体育大会本大会（東京都で開催）の予選会を兼ねています。各種別とも上位2チームが国体に出場できることから、国体出場を目指す選手たちのプレーには気迫がこもっていました。

地元出身選手と

全中優勝選手

今大会には、村上市在住・出身の選手2人が、新潟県・長野県の代表として出場しました。また、少年女子の部では、大会直前に行われた全国中学校体育大会（全中）の団体戦で優勝した見附市の見附西中学校の生徒も出場するため、注目を集めました。県内外から駆けつけた大勢の人の応援もあり、好プレーやポイントを得るたびに歓声が上がるなど、会場は盛り上がりました。



この夏、荒川テニスコートが最も“あつかった”2日間

国体での活躍に期待

大会結果は下の表のとおりで、新潟県は、少年女子の部で優勝し、国体出場を決めました。成年男子・成年女子の部は、惜しくも国体出場に至りませんでした。

今年の国体のソフトテニス競技は、10月4日(金)～7日(月)に東京都世田谷区の世田谷区立総合運動場庭球場ほかで開催されます。出場する選手たちには、国内最高レベルの舞台で大いに活躍してほしいと思います。

大会結果

	【成年男子】	【成年女子】	【少年女子】
1位	石川	石川	新潟
2位	長野	富山	石川
3位	富山	新潟	長野
4位	新潟	長野	富山
5位	福井	福井	福井

注)少年男子の部は、今年度ブロック予選を行わずに国体に出場します。



①スポーツ振興くじ「toto」の助成金も活用して整備した荒川テニスコート



②

②新潟県選抜の國松選手のサーブ

③試合を記録するスタッフ

④長野県VS新潟県の試合でプレーする川村選手(中)と中村選手(手前)



③



④

新

新潟県の成年女子の部に選手として出場した中村選手。新潟市内の専門学校に在学中で、練習は新潟で行っているそうです。

今大会では、目標にしていた国体出場にあと一歩及ばず、「地元の皆さんの応援を力にがんばったけど…」と、とても悔しそうに話してくれました。

「次こそは絶対に勝って上にいきたい。」と、今後の目標をハッキリと話してくれた中村選手の気持ちはすでに、来年のこの大会に向けられていました。



ひろみ
中村 裕美 選手
=緑町三丁目=

INTERVIEW

インタビュー



なおこ
川村 尚子 選手
=肴町出身=

長

野県の成年女子の部に選手として出場した川村選手は、信州大学に在学中です。普段は大学などでプレーしているとのことで、今大会が地元開催ということに驚いたそうで「こんな形で地元に戻ってくることができて、うれしいです。」と話してくれました。

試合では緊張して十分な力が発揮できず、負けてしまったことを悔やんでいましたが、「勝負どころで勝てるようになりたいし、スキルをもっと高めて、絶対に国体に出場したい。」と話してくれた川村さん。

明るい笑顔の裏には次の目標への闘志を燃やしているようでした。

